



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月29日

上場会社名 株式会社 バッファロー  
 コード番号 3352 URL <https://www.buffalo.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂本 裕二  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 日下部 直喜  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 048-227-8860

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	7,247		358		409		270	
2020年3月期第3四半期								

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 270百万円 ( %) 2020年3月期第3四半期 百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	119.82	
2020年3月期第3四半期		

(注) 当社は、2020年3月期連結会計年度末から連結財務諸表を作成しているため、2020年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本	%
2021年3月期第3四半期	7,417		5,443		5,443	73.4
2020年3月期	6,844		5,238		5,238	76.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 5,443百万円 2020年3月期 5,238百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		20.00		20.00	40.00
2021年3月期		20.00			
2021年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,287	2.4	460	4.5	500	2.4	333	3.6	147.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	2,275,374 株	2020年3月期	2,253,374 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,733 株	2020年3月期	1,733 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	2,256,281 株	2020年3月期3Q	2,240,779 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、前連結会計年度末から連結財務諸表を作成しております。前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により経済活動が制限され、著しい停滞を余儀なくされました。国内では、政府による緊急事態宣言(4月7日～5月25日)解除後に一時的な消費の回復が見られたほか、定額給付金やGo To キャンペーンなど景気刺激策による下支えもありましたが、11月からは感染の再拡大が深刻化しており、今後の見通しは一段と不透明なものとなっております。

このような環境の中、当社グループにおきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向け安全・衛生管理を徹底し、従業員のマスクの着用、定期的な消毒の実施、ソーシャルディスタンスの確保等の対策に取り組んでまいりました。急激に悪化した経済状況下におけるパート・アルバイトを含む従業員の雇用維持に努め、生活インフラである車関連事業及び外食事業を通じた地域の暮らしを支えるべく営業活動に全力を尽くしております。

当社グループのセグメントごとの業績は、次のとおりであります。

#### <オートボックス事業>

当第3四半期連結会計期間末におけるオートボックス事業の店舗数は、15店舗であります。

オートボックス事業が属する国内カー用品市場の環境につきましては、外出機会の減少とともに前年の消費税率引き上げ前の駆け込みによる需要先取りの影響もあり、カーナビゲーション、ドライブレコーダー等の販売が減少し、新車販売台数も大幅な前年割れとなりました。その一方で、新車買い控えに伴いカーケアに関連した商品のニーズが高まっており、カーワックス・車洗浄用品等の販売が増加しました。

このような環境の中で当社グループは、2019年5月に公表した「2019 中期経営計画」のもと「クルマのことからオートボックス」の実践を通じた地域ナンバーワンの店づくりを目指し、顧客満足度向上のための接客・接客力の強化、技術力を備えた専門スタッフの育成に取り組んでおります。販売施策といたしましては、ボディコーティングやヘッドライトコーティングメニュー等、車の美観向上に関するピットサービスメニューの拡充に努め、タイヤの販売数量の底上げと地域シェア拡大施策として、低価格帯商品を充実させた売場づくりと店頭販売体制の強化に継続してまいりました。また、車販売部門につきましては、第1四半期連結会計期間より車販売の取り扱い店舗をオートボックス4店舗から15店舗へと拡充し、オートボックスのカーリース「まる乗り」の拡販展開のほか、物販とのシナジーによる収益の向上を図っております。

なお、来店客数につきましては、自粛要請に伴う店舗営業時間の短縮等がマイナス要因となりましたが、除菌スプレーやウェットティッシュ等の、新型コロナウイルス感染症対策グッズの陳列、品揃えを拡充するなど各種集客施策に努めたことで回復基調が持続し、前年同期を上回る客数実績となっております。

これらの取り組みにより、オートボックス事業の売上高は7,070,716千円となりました。

#### <飲食事業>

当社グループは、2019年7月に設立した子会社「株式会社バフファローフードサービス」により、フランチャイズ加盟店『焼肉ライク』の運営を行っております。前年度中に開設した「目黒東口店」・「大宮西口店」とともに、「吉祥寺南口店」(2020年10月オープン)・「大宮東口店」(2020年11月オープン)が新たに営業を開始しており、当第3四半期連結会計期間末における店舗数は4店舗となっております。

『焼肉ライク』は、「Tasty! Quick! Value!」をキャッチフレーズに、1人1台の無煙ロースターを導入し、お客様が好きな部位を好きなだけ楽しむことができる新感覚の“焼肉ファストフード店”であり、個人客をメインターゲットにした新たな食スタイルの焼肉店として、メディアの注目度も高まっております。

飲食事業が属する外食産業の状況につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大により来店客数が大幅に減少する厳しい環境の中にあり、店内食の需要減を補うべくデリバリー・テイクアウトの導入を図る動きが強まるなど業界内での対応が模索されております。

当社グループといたしましては、お客様・取引先様・従業員の安全と健康を第一義に考え、感染拡大防止に向け行政機関による営業時間の短縮要請等への対応を行う一方で、『Uber Eats』と連携したデリバリーやテイクアウトメニューの拡充と、密閉空間・密集場所・密接場面の“3密”を避けるトレンドに合致した「非対面・1人食」の強みを生かし、営業活動を鋭意継続し周辺地域における認知度の向上を図っております。

これらの取り組みにより、飲食事業の売上高は176,753千円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高7,247,470千円、営業利益358,019千円、経常利益409,335千円、親会社株主に帰属する四半期純利益270,337千円となりました。

セグメント別の売上高は次のとおりであります。

セグメント	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)		前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
オートボックス事業	7,070,716	97.6	9,005,461	99.3
飲食事業	176,753	2.4	62,226	0.7
合計	7,247,470	100.0	9,067,687	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

各品目別の売上高及び構成比は次のとおりであります。

品目	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)		前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
ピット・サービス工賃	2,088,051	28.8	2,772,369	30.6
タイヤ・ホイール	1,667,734	23.0	2,088,775	23.0
アクセサリ・メンテナンス用品	1,472,893	20.3	1,695,211	18.7
カーエレクトロニクス	903,131	12.5	1,314,085	14.5
オイル・バッテリー	583,384	8.0	753,035	8.3
車販売	297,930	4.1	288,035	3.2
飲食	176,753	2.4	62,226	0.7
その他	57,589	0.8	93,947	1.0
合計	7,247,470	100.0	9,067,687	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

- 「車販売」につきましては、第1四半期連結会計期間より車販売の取り扱い店舗がオートボックス4店舗から15店舗に増加しております。
- 「飲食」につきましては、2019年10月に「焼肉ライク 目黒東口店」、2020年2月に「焼肉ライク 大宮西口店」を開設し、第1四半期連結会計期間より通期での営業を行っております。また、2020年10月に「焼肉ライク 吉祥寺南口店」、2020年11月に「焼肉ライク 大宮東口店」を新たに開設しております。
- 各品目の主な内容は、次のとおりであります。

品目	主な内容
ピット・サービス工賃	オイル交換、タイヤ交換、各種用品取付、板金・塗装、車検・整備、ボディーコーティング、ヘッドライトコーティング、車内クリーニング
タイヤ・ホイール	夏用タイヤ、冬用タイヤ、アルミ・スチールホイール
アクセサリ・メンテナンス用品	チャイルドシート、キャリア、チェーン、車内アクセサリ、ドレスアップ用品（ステアリング、シート、ランプ等）、チェーンナップ用品（エアロパーツ、マフラー、サスペンション等）、省燃費用品等
カーエレクトロニクス	カーナビゲーション、カーTV、ドライブレコーダー、DVD・CD・MDプレーヤー、スピーカー、アンプ、接続具等
オイル・バッテリー	国産・輸入エンジンオイル、国産車用・外車用バッテリー
車販売	新車及び中古自動車
飲食	店舗における飲食サービス

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ8.4%、572,579千円増加し7,417,301千円となりました。これは主に、現金及び預金の減少に対して、売掛金、商品及び流動資産のその他に含まれる未収入金の増加等があったためであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ22.9%、367,985千円増加し1,974,186千円となりました。これは主に、未払法人税等及び長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）の減少に対して、買掛金及び流動負債のその他に含まれる未払金の増加等があったためであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3.9%、204,594千円増加し5,443,115千円となりました。これは主に、配当金の支払に対して、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加、新株発行による資本金及び資本剰余金の増加等があったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の感染拡大につきましては、2021年1月7日に政府から再び緊急事態宣言が発令されるなど、予断を許さない状況が続いております。

新型コロナウイルス感染症の当社グループに対する影響は、当第3四半期連結累計期間においては、年末商戦時期と重なったこともあり、限定的な影響に留まりました。第4四半期以降につきましても、その影響は限定的であるものと想定し、通期の連結業績予想を据え置いております。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が今後さらに長期化、深刻化した場合、当社グループの業績に影響を与える可能性があります。今後の動向推移等から通期の連結業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,899,462	1,657,177
売掛金	489,184	860,423
商品	1,010,590	1,361,959
その他	296,819	381,947
流動資産合計	3,696,056	4,261,508
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,174,909	2,240,232
減価償却累計額	△1,237,352	△1,289,981
建物及び構築物(純額)	937,556	950,250
土地	686,694	686,694
その他	696,681	729,995
減価償却累計額	△466,109	△459,595
その他(純額)	230,572	270,400
有形固定資産合計	1,854,823	1,907,345
無形固定資産	5,925	20,000
投資その他の資産		
差入保証金	763,529	749,067
その他	524,387	479,380
投資その他の資産合計	1,287,917	1,228,447
固定資産合計	3,148,666	3,155,793
資産合計	6,844,722	7,417,301
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	275,979	743,634
1年内返済予定の長期借入金	79,580	56,256
未払法人税等	119,176	42,560
賞与引当金	126,803	67,906
その他	344,816	408,776
流動負債合計	946,355	1,319,134
固定負債		
長期借入金	83,900	45,020
退職給付に係る負債	462,201	492,738
資産除去債務	86,210	89,846
その他	27,533	27,446
固定負債合計	659,845	655,051
負債合計	1,606,200	1,974,186
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	602,583	614,661
資本剰余金	577,189	589,245
利益剰余金	4,059,154	4,239,425
自己株式	△117	△117
株主資本合計	5,238,810	5,443,216
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△289	△100
その他の包括利益累計額合計	△289	△100
純資産合計	5,238,521	5,443,115
負債純資産合計	6,844,722	7,417,301

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	7,247,470
売上原価	3,770,914
売上総利益	3,476,555
販売費及び一般管理費	3,118,535
営業利益	358,019
営業外収益	
受取利息及び配当金	7,577
受取手数料	5,322
受取保険金	18,246
その他	24,631
営業外収益合計	55,778
営業外費用	
支払利息	815
店舗復旧費用	1,766
固定資産除却損	1,091
その他	788
営業外費用合計	4,462
経常利益	409,335
税金等調整前四半期純利益	409,335
法人税、住民税及び事業税	112,988
法人税等調整額	26,010
法人税等合計	138,998
四半期純利益	270,337
親会社株主に帰属する四半期純利益	270,337



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	270,337
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	188
その他の包括利益合計	188
四半期包括利益	270,526
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	270,526
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大につきましては、2021年1月7日に政府から再び緊急事態宣言が発令されるなど、予断を許さない状況が続いており、収束時期を正確に予測することが困難となっております。

新型コロナウイルス感染症の当社グループに対する影響は、当第3四半期連結累計期間においては、年末商戦時期と重なったこともあり、限定的な影響に留まりました。第4四半期以降につきましても、その影響は限定的であるものと仮定し会計上の見積りを行っております。今後の情勢が本仮定と乖離する場合には、当社グループの財政状態及び経営成績に影響を与える可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結財務 諸表計上額 (注) 2
	オートボックス 事業	飲食事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,070,716	176,753	7,247,470	—	7,247,470
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,070,716	176,753	7,247,470	—	7,247,470
セグメント利益又は損失 (△)	641,732	△27,689	614,042	△256,023	358,019

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△256,023千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。